



津山市立みどりの丘保育所 R4年11月30日発行

3歳児 柴田 光田

「チューリップさん、 のど渴いてないかな？」

育っている姿（自然との関わり・生命の尊重・言葉による伝え合い）



チューリップさん
のど渴いてないかな？

育っている姿

チューリップの球根を植えました。球根を見ると、「これからお花が咲くの？」と興味津々の子ども達。「何色のチューリップが咲くかな?」「赤がいいな」などと言いながら自分で球根を選んで穴の中にそっと入れて、土をかけていました。植え終わると、「チューリップさん、のど渴いてないかな?」とA児が言いました。その声を聞いて、子ども達は一斉にジョウロを取りに行き、水をやり始めました。翌日からも自分からチューリップを植えたプランターの様子を見に行き、水やりをしながら花が咲くのを楽しみにしている子ども達です。

これまでの経験から、種や球根が大きくなるためには水が必要ということを知っていた子ども達は、すぐに水をやり始めました。翌日からも友達と一緒にプランターの様子を見て進んで水やりをする姿をから、命を大切にする気持ち、チューリップの花が咲くことを楽しみにしている気持ちが伝わってきました。